

1. 件名：高速炉セシウムエアロゾル試験委託事業に関する進捗確認

2. 日時：令和3年12月23日（木）10:30～12:00

3. 場所：TV会議

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

石津主任技術研究調査官、井上技術研究調査官、藤田(哲)技術研究調査官

学校法人五島育英会東京都市大学 教授 他1名

5. 要旨：

ナトリウム冷却高速炉において、シビアアクシデント時に環境へ放出される核分裂生成物の中でセシウムの挙動は特に重要である。そこで、令和3年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業では、水蒸気雰囲気中でナトリウム化合物エアロゾルが共存する場合のセシウム化合物エアロゾルの挙動に関する知見を実験及び理論計算によって取得する。

本委託事業の実施に当たり、入札説明書[1]に含まれる仕様書に基づき、受託者である東京都市大学から、試験装置高度化及びエアロゾル採取方法改良の作業状況等について説明があり、計画どおり進捗していることを確認した。また、セシウム化合物等の熱力学的安定性評価の解析条件を決定するため、シビアアクシデントの事象進展等について意見交換を行った。

6. その他：

[1] 原子力規制庁，“令和3年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業 入札説明書,” 令和3年8月13日公告.